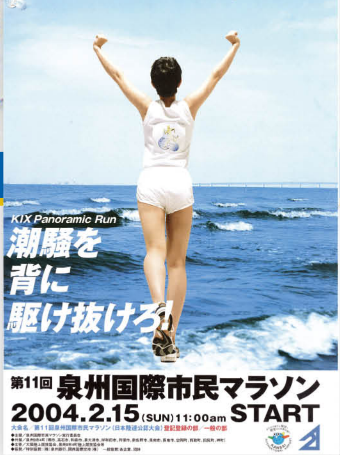
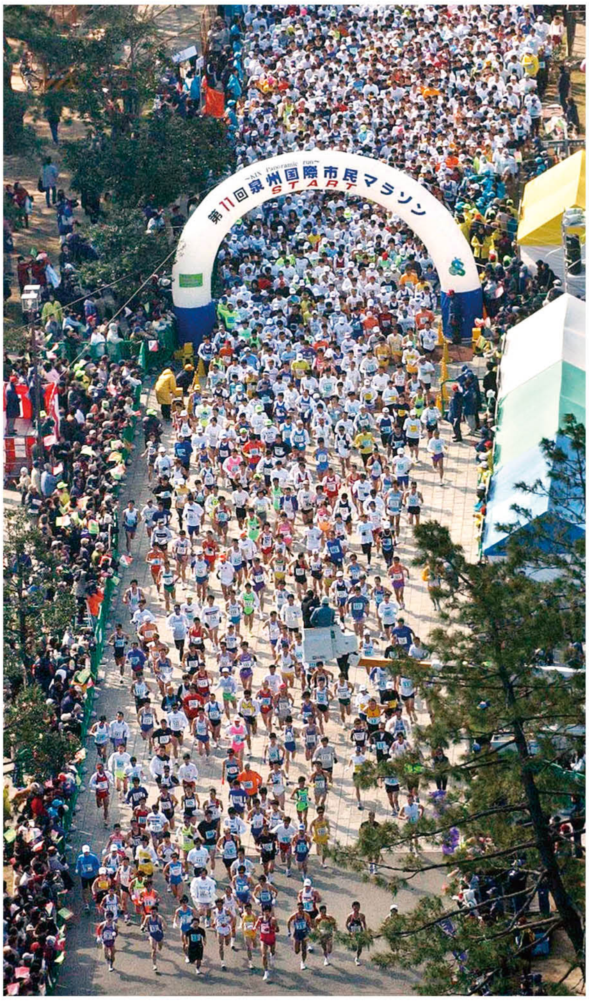
泉州国際市民マラソン
第11回大会 2004年（平成16年）

SENSHU INTERNATIONAL CITY MARATHON THE 11th CONVENTIONS

2月15日㊐

天　　候：晴れ
気　　温：10.5℃
参加者数：2,765人
完走者数：2,146人
沿道人数：23万人


Senshu International City Marathon
KIX Panoramic Run
潮騒を
背に
駆け抜けろ！
第11回 泉州国際市民マラソン
2004.2.15(SUN)11:00am START
大会名／第11回泉州国際市民マラソン（日本陸連公認大会）登記登録の部／一般の部
KANSAI


第11回泉州国際市民マラソン
START

国内外の招待選手を含む2765人が、堺市浜寺公園をスタートし、りんくう公園駐車場のフィニッシュ会場に向け健脚を競った。男子は招待選手の櫛部静二（愛三工業）が34km過ぎに小林正明を振り切りトップでゴール。記録は2時間19分50秒で本大会初優勝だった。女子は、招待選手の杉原愛（大塚製薬）が期待通りの走りを見せ、1月の大阪国際女子マラソン出場直後の参加であったが、前半から独走、2時間45分18秒で3年ぶり2度目の優勝に輝いた。大阪陸協登録の石戸香、第1回大会優勝の黒崎しのぶがそれぞれ2・3位と続いた。

スタート時は、気温9度、風速1.6mとコースコンディションは良かったが、レース後半には風速が強くなりランナーを苦しめた。優勝の櫛部静二は「風が強かったが沿道の声援が嬉しかった」と感謝の言葉を忘れなかった。

出場者の最高齢でもある日本マラソン界のパイオニア的存在で、1953年ボストンマラソン優勝の山田敬蔵は、毎日早朝から25kmを走るトレーニングを続けて来たといい、目標タイム4時間を切る3時間51分44秒でフィニッシュした。

今年も、競技を支える役員・審判員の他、多くのボランティアが協力したが、安全な大会運営のため大阪府警と自衛隊の協力と援助が重要であった。確実な通信体制や規制管理を施し、その計画と指令系統は秒単位のもので想像を絶する緻密なものである。

~KIX Panoramic run~
第11回泉州国際市民マラソン
START

小旗が振られ選手らスタート

沿道で選手を応援する人ら

沿道の声援を受けて力走する選手ら

2004年(平成16年)2月15日付朝刊

櫛部選手ら健闘誓う

泉州マラソン「失敗恐れず元気に走る」

力強く選手宣誓する松本選手（中央）＝泉佐野市内で

「第十一回泉州国際市民マラソン」（同マラソン実行委員会主催、読売新聞大阪本社、読売テレビなど後援）の開会式とレセプションが十四日夕、泉佐野市内のホテルであり、一九九六年のシドニー・マラソンで二位に入った櫛部静二選手（愛三工業）ら特別招待選手や市民ランナーらが互いに健闘を誓い合った。

式には、ほかに国内外の招待選手や、泉州地域九市四町の首長ら計約三百人が参加。冒頭で、実行委員長の向井通彦・泉南市長が「日ごろの練習成果を十分発揮して、素晴らしい思い出になるような大会にしてほしい」とあいさつした。

この後、櫛部選手ら特別招待選手が「隣にいる選手たちに負けないよう頑張りたい」「失敗を恐れずに元気よく走ります」と、大会への意気込みを語った。

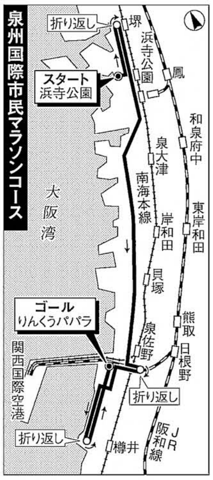
各市町の姉妹、友好都市から出場するランナーや、全国各地の市民マラソンで優勝した招待選手らも紹介。昨年、泉州国際市民マラソン女子一般の部で好成績を上げた岡山県瀬戸町の会社員松本晴美選手(36)が、「市民マラソンの頂点といわれる、この大会に参加できることに感謝し、ベストを尽くします」と宣誓した。

同マラソンは十五日午前十一時、堺市浜寺公園をスタート。高石市から泉南市まで南下した後、折り返して、ゴールの泉佐野市のりんくうパパライベント広場を目指す。

早春の湾岸駆ける

泉州国際市民マラソン　15日号砲

高石ともやさんら招待



泉州国際市民マラソンコース

早春の泉州路を駆ける「第十一回泉州国際市民マラソン」（泉州国際市民マラソン実行委員会主催、読売新聞大阪本社、読売テレビなど後援）が十五日に開催される。応募があった五千九百二十四人から抽選された約三千人の市民ランナーらが健脚を競い、一昨年の防府読売マラソンで三位に入った櫛部静二選手(32)（愛三工業）やシンガー・ソングライターの高石ともやさん(62)ら招待選手も出場し、大会を盛り上げる。

当日は午前十一時、堺市浜寺公園をスタートし、府道堺阪南線（旧国道26号）を北上。同市大浜中町で折り返し、高石、泉大津、忠岡、岸和田、貝塚各市町を南下する。

さらに、泉佐野市で関西空港連絡道の側道で折り返し、府道泉佐野岩出線から同空港が望める大型橋の田尻スカイブリッジ（五百七十二㍍）と泉南マリンブリッジ（六百四十九㍍）を通過。泉南市の樽井浜口交差点で折り返してゴールの泉佐野市りんくうパパライベント広場を目指す。

実行委によると、コースは全体的に直線が多く、ランナーにとっては走りやすいという。また今大会では初めて、審判長車に水素を燃料にする燃料電池車を採用、沿道に「環境保護の大切さ」をアピールする。

招待選手の櫛部選手は、一九九六年のシドニーマラソンで二位に入るなど実力者。五三年のボストンマラソンで優勝した山田敬蔵さん(76)や、堺市出身で九八年サロマ湖ウルトラ五十㌔マラソン女子芸能人の部で一、二位となった双子のタレント、アン☆ドゥ（森下雅美、里美姉妹）も招かれる。

ゴール付近では、泉州九市四町の物産展もあり、協賛企業などが和菓子やタオル、だんじりグッズなどを販売。景品が当たる「優勝タイム当てゲーム」も行われる。

◇

レース中のコースは、先頭ランナーが通過する三十分前から最後尾ランナーまで順次、通行止めなどの交通規制を実施する。主な地点の予想時間は次の通り。（先頭、最後尾の順）

▽堺市・ドコモショップ堺大浜店前（5㌔）11時15分、11時42分▽高石市・高石署前（10㌔）11時31分、12時9分▽泉大津市・旭機工商会前(15㌔)11時47分、12時39分▽岸和田市・別所医院前（20㌔）12時3分、13時7分▽泉佐野市・鶴沢橋南交差点南側（25㌔）12時20分、13時37分▽同・高松南交差点南（30㌔）12時36分、14時9分▽泉南市・泉南マリンブリッジ南側（35㌔）12時52分、14時42分▽同・岡田北交差点北側（40㌔）13時9分、15時21分

2004年(平成16年)2月8日付朝刊

軍手にメッセージを書いて、沿道で応援する貝塚市立西小の児童ら

泉州国際市民マラソン20周年に寄せる言葉

泉南市長　**向井 通彦**

第20回泉州国際市民マラソン大会が、ランナーの皆様はじめ、たくさんの方々のご参加のもと、今年も盛大に開催されますこと、心からお祝い申し上げます。

関西国際空港の開港記念イベントとして始まった本大会も今年で20回目となり、一つの記念すべき節目を迎えました。今や日本全国に知られるだけでなく、海外からの選手も増え、多くの皆様にご参加いただける大会に成長いたしましたこと、とても喜ばしく思います。これもひとえに、大会関係者並びにボランティアの皆様方のご支援・ご協力の賜物と厚くお礼申し上げます。

さて、スポーツを通して豊かで健康的な生活を送ろうということから、近年、ウォーキングやジョギング、マラソンといったスポーツを自ら積極的に取り入れようとする機運が高まってきております。マラソン会場周辺においても、海岸沿いのすばらしい眺望の中で、早朝や夕方になるとそれらを目的とした方々が非常に多く見受けられます。本大会に参加される選手・関係者の皆様も、スポーツライフを実践され、潤いと活気に満ちた人生を送っておられることと存じます。今後もこの大会を通じ、広域的な親睦・交流を図られますようご期待申し上げます。

最後になりましたが、本大会開催にあたり、ご尽力いただきました関係各位に感謝申し上げまして、私のごあいさつといたします。

泉州国際市民マラソン 2800人号砲

早春の潮風 力走後押し

2004年（平成16年）
2月16日付朝刊

第11回泉州国際市民マラソン
START

一斉にスタートするランナー（15日午前11時、堺市の浜寺公園で、本社ヘリから）

早春の潮風を受けながら市民ランナーが泉州路を駆け抜けた――。十五日開催された「第十一回泉州国際市民マラソン」（同実行委員会主催、読売新聞大阪本社、読売テレビ、報知新聞社など後援）。国内外から参加した約二千八百人が堺市をスタート、ゴールの泉佐野市のりんくうパパライベント広場を目指した。曇り空からは時折、晴れ間ものぞき、沿道では、力走するランナーらに、大勢の観衆が小旗を振って声援を送った。

堺市の浜寺公園ではスタートラインに並んだ参加者を、大会実行委員長の向井通彦・泉南市長が「すばらしいマラソン日和。沿道の市民も歓迎していますので、完走目指して力いっぱい走って」と激励した。

送り出しは「負けないで」

号砲とともに参加者は軽快に走り出した。陸上自衛隊信太山駐屯地音楽隊の12人が大会テーマ曲「負けないで」を演奏、送り出した。

貝塚市立西小の児童らとタッチを交わす高石ともやさん

高石さん ハイタッチにジーン

ほぼ中間地点の貝塚市脇浜の休憩所。同市立西小の児童約50人が、「最後までガンバレ」「あきらめないでゴールまで」などとメッセージを書いた軍手をして、ランナーに手を差し出して応援した。

武本大地君（12）は「『応援ありがとう』とランナーからお礼をいわれ、すごくうれしかった。僕も大きくなったら絶対出場したい」。

シンガー・ソングライターの高石ともやさん（62）は、児童らとタッチを交わしたあと、「ジーンとくるね。市民マラソンはこうでなくっちゃ。ますますやる気が出てきた」と語り、ひと際大きな声援を受け、レースに戻った。

究極のエコカー登場

究極のエコカーといわれる「燃料電池車」が審判長車として導入され、先頭集団のわきを並走した。

ダイハツ工業の軽自動車で、燃料の水素と空気中の酸素を化学反応させ、発電しながら走る。排ガスが出ないため、ランナーに優しく、観衆にも環境保護を啓発できる効果があり、運転手を務めた同社員は「子どもたちが車にも声援を送ってくれて感激。今後は台数を増やしたいですね」。

最高齢76歳 4時間切る

出場者の最高齢で、一九五三年のボストンマラソン優勝者の山田敬蔵さん（76）は、今年二回目のフルマラソン。毎日午前二時に起床し、約二十五キロずつ走るトレーニングを続けてきたといい、目標タイムの4時間を切る3時間51分44秒でフィニッシュした。

山田さんは「終始向かい風が強かったので、少し心配したが、なかなかの好タイム」と満足そうに振り返った。

女子参加者で最高齢の池田美佐子さん（69）（堺市）は、三十一・九キロ地点を制限時間の3時間20分以内に通過できず、リタイア。「完走できるまで挑戦します」と新たなファイトを燃やしていた。

36位王強さん 笑顔の完走

堺市の友好都市、中国・江蘇省連雲港市から初めて参加、2時間56分14秒でゴールし、「市民」男子36位となった招待選手の王強さん（28）。声援を送る市民らに「ありがとう」と言いながら走ったといい、「応援のおかげで、全く疲れを感じなかった」と笑顔を見せた。

堺の子頑張った！

女子の特別招待選手で堺市出身、森下雅美さんと里美さんの双子姉妹のモデル・タレント「アン☆ドゥ」。姉の雅美さんがヒザの故障で欠場し、一人で走った里美さんは自己ベストを8分近く縮める3時間56分15秒でゴール。出迎えた雅美さんと抱き合って喜びを爆発させた。里美さんは「風がきつかったけど、『堺の子やろ、頑張れ』という声援に力づけられました。見慣れた景色の中で思い通りの走りができて最高です」と涙を浮かべた。

出迎えた姉・雅美さん（左）と抱き合う森下里美さん

浴室乾燥暖房機
ビルトインコンロ
燃料電池車

審判長車に燃料電池車を初導入

杉原愛（大塚製薬）優勝し月桂冠を受ける

櫛部が初優勝

女子は杉原独走

泉州国際市民マラソン

陸上・泉州国際市民マラソン（15日・大阪府堺市浜寺公園―泉佐野市りんくうタウン42・195キロ）――国内外の招待選手を含む2765人（女子282人）が参加して行われ、男子は、特別招待選手の櫛部静二(32)（愛三工業）が34キロ過ぎにスパートして小林正明(33)（山陽特殊製鋼）らを振り切って2時間19分50秒で初優勝した。女子も、特別招待選手の杉原愛(28)（大塚製薬）がスタート直後から独走し、2時間45分18秒で、3年ぶり2度目のVを果たした。

完走者は2146人。（スタート時、晴れ、気温9度、湿度60%、北西の風1・6メートル）

大塚製薬
泉州銀行
2
山陽特殊製鋼
3
愛三工業
泉州銀行
1

先頭争いを繰り広げる櫛部、小林、今井（右から、25キロ付近で）

健在ぶりアピール

○…男子は、実績のある櫛部が貫録の初V。力強い走りで、予定より5分以上も速いタイムでゴールした。「沿道からの声援がうれしかった。風が強くてきついレースだったけどタイムにも満足」と笑顔。城西大コーチとの兼任で多忙な日々だが、健在ぶりは存分に見せつけた。

「練習通り」と笑み

○…女子で独走優勝を果たした杉原は「流れのままに走れた。練習通り」と白い歯を見せた。1月に大阪国際に出場したばかりで、3月の名古屋国際も走るつもりだ。ハードな日程だが「特に疲れはない。こういう日程が自分に合っていると思う」と平然。ベストタイムは2時間30分50秒。「どうしても（2時間）30分は切りたい」と25回目となるフルマラソンに向けて意欲をみなぎらせた。

＜主催＞泉州国際市民マラソン実行委員会
＜共催＞泉州9市4町
＜主管＞泉州9市4町陸上競技協会ほか
＜後援＞読売新聞大阪本社、読売テレビ、報知新聞社ほか
＜特別協賛＞泉州銀行、関西国際空港

2004年（平成16年）2月16日付朝刊

タイム計測の近代化

マラソンレースにおけるランナーの計測は、これまで手動によるストップウオッチで計測されていたが、大阪マラソンなど何万人ともなると不可能である。30年程前に開発された電波を使う計測が世界の常識となった。

トランスポンダーシステムといわれ5キロごと路面に敷き詰めた受信ラインアンテナをランナーが通過すると、1メートル前から反応し、ナンバーカードに付着しているICタグ（チップ）を感知し記録される。1秒間に数万回以上の信号をキャッチするので、同時に多くのランナーが通過しても必ず全員正確に計測する。

ICタグをランナーの靴紐に取り付けた時代があったが、フィニッシュ地点で他のランナーと同時にゴールしても、タグ（チップ）が付いた足が前に出てゴールした人と後足の人とでは着順に誤差が出ることになり、記録の計測部位はトルソー（胴体）であるところから、ナンバーカードは前（胸）につけるようになった。時代とともに記録計測は機能性、信頼性、作業効率性などが近代化されていったのである。

ゆえに、それぞれの企業は、より軽くて、迅速で、正確な機器の研究開発に余念がない。

愛三工業
泉州銀行
1
民マラソン
泉州

優勝
第11回大会

男子
愛三工業
櫛部静二

女子
大塚製薬
杉原愛

大塚製薬
関西国際空港
5001
際市民マラソン